



2022年8月31日

各 位

会 社 名 ソレイジア・ファーマ株式会社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 井 好 裕  
(コード番号：4597 東証グロース)  
問 合 せ 先 取 締 役 CFO 管 理 本 部 長 宮 下 敏 雄  
電 話 0 3 - 5 8 4 3 - 8 0 4 6

#### 行使価額修正条項付第12回新株予約権の取得及び消却に関するお知らせ

当社は、本日付取締役会において、2020年8月13日付取締役会決議に基づき発行したソレイジア・ファーマ第12回新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）につき、残存する本新株予約権の全部を取得日に取得するとともに、取得後直ちに消却することを決議し、取得後直ちに当該新株予約権の全部を消却いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 取得及び消却する新株予約権の内容

(1) 取得及び消却する新株予約権の名称	ソレイジア・ファーマ株式会社第12回新株予約権
(2) 取得及び消却する新株予約権の数	60,800 個
(3) 取得日及び消却日	2022年8月31日
(4) 取得価額	3,404,800 円（新株予約権 1 個当たり 56 円）
(5) 消却後に残存する新株予約権の数	0 個

##### 2. 本新株予約権の取得及び消却の理由

当社は、『患者さんの明るい未来のために、より良い医薬品を提供してゆきたい』という当社ミッション実現に向け、がんに罹患している患者さん、さらに医療従事者の期待に応えるため、また、一定程度以上の成長を伴った事業運営を図るため、新規開発品の導入とその開発進行を行うことが必須と判断し、マッコーリー・バンク・リミテッドを割当先として2020年8月13日付取締役会決議に基づき第11回新株予約権及び本新株予約権を発行いたしました。第11回及び本新株予約権の発行総数は合計230,000個（その目的となる株式数23,000,000株）であり当初の調達予定額は5,545百万円でした。これまで、これら新株予約権において169,200個（その目的となる株式数16,920,000株）の行使が行われ、2,278百万円の資金を調達いたしました。

第11回新株予約権の行使は完了しておりますが、今回、マッコーリー・バンク・リミテッドより、本新株予約権の行使期間満了日（2022年8月31日）が迫り、本新株予約権に関する契約に基づき、2022年8月24日付で本新株予約権の取得請求通知を受領したため、当社は、残存する本新株予約権の全部を本日取得し、消却することといたしました。

##### 3. 資金使途の変更

第11回新株予約権及び本新株予約権による資金調達は、上記のとおり株価低迷の影響を受け当初想定額5,545百万円に対し、2,278百万円で完了しております。これを受けて資金使途を以下のとおり変更いたします。

(単位:百万円) 使途	当初想定		変更想定	
	充当予定額	充当予定時期	充当額	充当予定時期
SP-02 開発資金等	1,545	2020年～2023年	1,064	2020年～2022年
SP-04 開発資金	2,000	2021年～2023年	326	2021年～2022年
SP-05 導入開発資金	2,000	2020年～2024年	888	2020年～2023年
合計	5,545		2,278	

※ SP-05 導入開発資金 現時点での未充当額: 450百万円。充当完了は2023年12月を予定。

SP-02 開発等は、第 11 回新株予約権及び本新株予約権の行使による資金（1,064 百万円）を含めた開発投資の結果として、再発又は難治性の末梢性 T 細胞リンパ腫治療薬としての当局承認、販売開始の成果に結実し、また適応拡大等の非臨床開発に着手いたしました。今後の適応拡大等開発展開は、本年 3 月 2 日に発行した第 13 回新株予約権の行使による資金を中心として充当してゆく計画です。SP-04 開発は、現在タキサン製剤起因の末梢神経障害適応を対象とする非臨床開発の段階にあり、第 11 回新株予約権及び本新株予約権の発行時に想定していたプラチナ製剤起因の末梢神経障害適応での追加臨床試験を行わない見通しとなっており、第 11 回及び本新株予約権行使による充当額は 326 百万円に留まりました。SP-05 導入開発は、当初想定に比して実施した第Ⅲ相臨床試験の患者数（被験者数）が少数となり開発投資額が限定されることとなったため、第 11 回及び本新株予約権行使による充当額は 888 百万円に留まる見通しです。

なお、本件消却による第 13 回新株予約権行使資金の使途への影響はありません。

#### 4. 今後の見通し

本新株予約権の取得及び消却が今期業績に与える影響は軽微であり、また上記第 11 回及び本新株予約権行使による想定調達額の減少は期初想定のとおりであったため、2022 年 2 月 9 日に公表した 2022 年 12 月期連結業績予想数値の変更は行いません。

以上

#### 注意事項：

このプレスリリースに記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、このプレスリリースに含まれている医薬品又は医療機器（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。